

「ふるさとの学び特別賞」

学校名 勝山市立村岡小学校	校長名 有島 直孝
住 所 福井県勝山市郡町2丁目9-1	

1. 推薦理由
<p>本校はユネスコスクールに加盟し、地域を題材として各学年でテーマを設定し、E S Dに取り組んでいる。6年生を中心とした、ミチノクフクジュソウ群生地での保全活動は、平成20年度より「NPO法人小原ECOプロジェクト」と連携して継続して行われ、その活動の中で6年生から5年生へと学びのバトンが引き継がれている。本年度は、ミチノクフクジュソウを取り巻く自然環境や人々の暮らしや歴史にも「魅力」として目を向け、本当の豊かさや未来を考え、発信や発表の方法や内容を児童が主体的に活動し、学級全員で協力して実現できたことが素晴らしい。</p>
2. 活動内容 テーマ「村岡とわたしたちの未来へつなげよう」
<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象学年・児童数 6年生30名 5年生35名</li> <li>・勝山市の北部に位置する小原地区は、過疎化が進み、現在、住民1名の限界集落である。小原地区には県の絶滅危惧種Ⅰ種ミチノクフクジュソウの群生地がある。自然と共に歩んできた人々の暮らしを含めた豊かな環境の保全が課題である。</li> <li>・本校は15年前から小原地区の環境保全活動を「NPO法人小原ECOプロジェクト」と共同で行い、群生地の下草刈りや環境保全を訴える看板作りを継続して行ってきた。活動の中で、福島大学や京都植物園の先生、環境省の方々、地域環境サークルの方々と交流してきた。</li> <li>・本年度は、特に環境保全のPR活動と学びの発信に児童が主体的に取り組んでいる。             <ul style="list-style-type: none"> <li>【PRパンフレット】キャラクターを考え、タブレットでパンフレットを作成して修学旅行での配布活動の計画を立てた（コロナ感染症で配布活動はできなかった）</li> <li>【PR動画：勝山の大秘境】児童が動画の構成を考え取材し、小原ECOプロジェクトのドローン画像も取り入れ、アフレコ等を行って完成させた。ユーチューブにもアップした。</li> <li>【E S Dダイアログ2022での発表】児童が学んだ小原の魅力や未来への考えを15分間のプレゼンテーションと発表にまとめた。勝山中部中校区の2小学校とオンラインで結び、発表を行って意見交換した後、E S Dダイアログで県内外の関係者に発表した。</li> </ul> </li> </ul>
3. 年間活動実績（12月以降の予定を含む）
<p>4月 現地でミチノクフクジュソウ開花観察・学習会</p> <p>5月 総合の時間でキャラクター作り、PR動画の計画と準備</p> <p>6月 現地で画像撮影、動画撮影</p> <p>7月 現地で群生地の下草除去作業、保全看板（本体）づくり、自然にふれあう活動 総合の時間で動画の検討・編集</p> <p>9月 総合の時間でPRパンフレットづくり、PR動画の作成</p> <p>10月 5年生が取り組みをスタートさせる 総合の時間で小原ECOプロジェクト・奥越農林事務所の方からミチノクフクジュソウについて教えていただく 後日、現地で下草刈りと6年生の作った保全看板に絵付けをして完成させる 6年生は総合の時間で「E S Dダイアログ2022」での発表を検討</p> <p>11月 6年生が3小学校E S D活動の成果の発表と交流 「E S Dダイアログ2022～自然資産を教材としたSDGs教育とは～」クラス全員で成果を発表</p>
4. 提出書類リスト
<ul style="list-style-type: none"> <li>・【PDF：E S Dダイアログ】6年生が作成した発表用プレゼンテーション</li> <li>・【PDF：PRパンフレット】6年生が作成したパンフレット</li> <li>・【PDF：学びの様子（ブログ公開）】活動の様子を本校ブログで公開したもの</li> <li>・【PDF：村岡小（新聞記事）】取り組みに関する新聞記事</li> </ul>